

<開倫塾恒例・新学年予習特別期間>

入学試験、学年末試験、3大検定が終了したその日から、頭がフル回転している間に、新学年の予習に着手。何を学ぶかを事前に学んでから新学年を迎えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. (1)①<毎年2月～4月は開倫塾恒例・新学年予習特別期間です。>

②開倫塾では創業以来、入学試験・学年末試験・3学期3大検定終了当日から、<開倫塾恒例・新学年予習特別期間>に入ります。

③頭がフル回転している間に、また、長時間自己学習の学習習慣がついている間に次の学年の予習をすると、「完全理解」がしやすいからです。

(2)入試試験・学年末試験・3学期3大検定などの大切な試験が終了したら、何をどうしたらよいか。

①何か月にもわたる長時間自己学習で、試験直後は頭がフル回転しています。

②また、今までに学んだ内容が十分に「理解」できていますので、新学年の内容を学んでもきちんと「理解」できます。

③これに加えて、「定着のための3大練習」をぬかりなく行えば、「理解」できた新学年の内容をスミからスミまで身に着けることができます。

(3)もう一度いいます。

①入学試験・学年末試験・3学期3大検定が終了したその日から新学年の予習をどんどん行い、どんどん「理解」し、「定着」を図ることが大切です。

②新学年の予習をどれだけ行ったかが、その教科の1学期の成績、さらには、1年間の成績を決めます。

③学校成績(校内順位)大幅アップの秘訣は、まずは1日も早く新学年の予習を徹底的に行うことです。

*「いつから行うか」、それは「入学試験・学年末試験・3学期3大検定が終了したその日から」です。

2. (1)開倫塾のおすすめは、入学試験・学年末試験・3学期3大検定が終了したその日から、頭がフル回転して長時間自己学習の学習習慣が身に着いている間に、学校の教科書が届くまでは、開倫塾の教材で新学年の予習を徹底的に行うことです。

(2)学校の教科書が手に入ったら、その日から猛ダッシュで、開倫塾の教材を参考に、教科書も徹底的に予習することです。

(3)GWが終わるころまでに、学校の教科書の大半を、1教科でも多く一通り予習し終えることです。

3. <教科別予習法①>

- (1) ①**数学**は、教科書の問題を例題を含め全部ノートに解き終える。
- (2) ①**英語**は、教科書の本文をスラスラとよく読めるようにする。
 - ②教科書に出ている語句で意味のわからないものは、辞書で調べる。
 - ③調べた内容はノートに書き写し、全部覚える。
- (3) ①**国語**は、教科書の本文をよく読む。
 - ②音読練習を繰り返し、スラスラとよく読めるまでにする。
* 大事な作品は、全文を「暗誦」する。
 - ③教科書に出ている語句で意味のわからないものは、国語辞典、漢和(字)辞典、古語辞典で調べる。調べた内容はノートに書き写し、全部覚える。書き方も覚える。

4. <教科別予習法②>

- (1) ①**社会**と**理科**は、教科書をよく読み、大切なことはノートに書き写す。
 - * 地名は「地図帳」で必ず確認。
 - * 年号は「年表」で必ず確認。
 - ②意味のわからない語句は、辞書や学年別参考書、分野別参考書で調べる。調べた内容はノートに書き写し、全部覚える。
 - ③教科書の内容が「理解」できたら、声を出して読む音読練習、書き順も含めた書き取り練習をする。そして、教科書に出ている内容はスミからスミまで全部覚える。
- (2) ①**音楽**は、教科書に出ている曲を、自分の演奏できる楽器で演奏できるようになるまで練習する。
 - ②声を出して歌えるようになるまで練習する。
* 楽譜を見ないで演奏したり歌ったりできるまでにする。
 - ③演奏会に行き、実際の演奏を聴いてみる。
* 図書館などの CD で、実際の演奏を聴いてみる。
* TV やラジオの音楽番組を視聴する。また、録音・録画して何回も視聴する。
- (3) ①**美術**は、教科書に出ている内容をよく読んで「理解」する。
 - * 辞書を使って意味調べも。
 - ②自分で作れそうなものは、実際に作ってみる。
 - ③興味のある作品や分野は、図書館に行って大きな本で調べる。
* 美術館などに行き、作品を鑑賞する。

5. <教科別予習法③>

- (1) ①**保健体育**、**技術・家庭・情報**も、他の教科書と同じように、1 ページずつしっかり読んで「理解」し、大切な内容はノートにまとめる。
 - ②わからない語句があれば、辞書で調べる。
* 図書館の事典で調べる。
* インターネットで調べる。
 - ③新聞を毎日よく読み、教科に関係のある内容の特集記事を切り抜き、時々整理してスクラ

ップする。

* TV 番組を録画しながら見る。

* 大事な試合は、スタジアムに行って観戦も。

(2)①ウィンドウズ、マックの基本操作を身に着ける。

②同時に、レゴ・ミニ四駆・はんだ付け電子工作(ライトレースカー・ラズベリーパイ・ロボット)にも親しむ。

③プログラミングにも挑戦する。

6. 「予習どころではない教科」はどうするか。

(1)①新学年の内容は、すべて、今までの学年の続きです。

②今までに学んだことを基礎にして、新しい内容を付け加えたものです。

③小学校の内容の上に中学校の内容があります。中学校の内容の上に高校の内容があります。

(2)①今学んでいることがよくわからなければ、その原因は前の学年の内容がよくわからないためかもしれません。

②もっと前の学年の内容がわからないためかもしれません。

③そこで、例えば英語が全然わからなければ、思い切って中学 1 年生からやり直すことも大切です。

(3)①「よくわからないことがある場合は、よくわからないところまで遡(さかのぼ)って学習する」。これを「遡及(そきゅう)学習」といいます。

② 2022 年度は開倫塾のすべての塾生の皆様は「遡及学習」を徹底的に行い、わからないところをなくし、各教科の学習内容の「完全理解」を目指しましょう。

7. (1)①ちなみに、開倫塾では創業当時から、「ある内容を完全に理解するためには、それまでに学んだ内容を完全に理解するとよい」と考え、塾生の皆様におすすめしています。

②今までに学んだ内容の「復習」が大切なのはこのためです。

③ですから、「授業後の復習」はとても大切です。

(2)よく考えれば、「授業直前の復習」はもっと大切です。

(3)① 2022 年度は、「新しいことを学ぶ前には、必ずそれまでに学んだことを復習する」を合言葉に、「完全習得」を目指しましょう。

②セミナー授業でも個別指導でも、新しい内容を学ぶ前には、それまでのことを「復習」してから授業に入るようにお願いします。

③授業開始 30 分～1 時間前に着席し、テキストの 1 ページから前回学んだところまでを自分に聞こえるくらいの小さな声で「音読」または「黙読」しましょう。

③ノートも、1 ページから前回までのページを「音読」または「黙読」しましょう。

8. これらが「学習習慣」として身に着くと、どんなに難しい学校に進学しても大丈夫です。どんなに難しい仕事に就いても大丈夫です。

* 開倫塾の教育目標「自己学習能力」には、このような「学習習慣」の育成も入ります。